

研修 評価

研修名	新潟県委託事業 看護職のための自殺予防と対策 ～看護職がゲートキーパーとしての役割を果たせるために～				
領 域	臨床実践能力 (ニーズをとらえる能力)	会場	新潟県看護研修 センター	受講料	無料
対 象	習熟段階 (Ⅰ～Ⅳ) 募集数(90人)応募数(76人)参加数(76人)会員数(42人)非会員数(34人)				
日 時	令和 7 年 7 月 7 日 (月曜日) 09:30 ～ 16:40				
ねらい (目標)	1) うつ病の早期発見と対応のポイントを学ぶ 2) うつ傾向にある患者のかかわり方を学ぶ 3) 事例を通して地域で支える仕組みについて学ぶ				
講 師	【情報提供】服部摩耶加 新潟県福祉保健部障害福祉課いのちとこころの支援室 【講義Ⅰ】 福島 昇 新潟市こころの健康センター所長 【講義Ⅱ】 関谷昭吉 新潟青陵大学福祉心理学部臨床心理学科 准教授 医学博士 公認心理士 精神保健福祉士 【実践報告】長谷川香里 下越地域いのちとこころの支援センター専門相談員				
内容・方法	○講義内容 ・情報提供：新潟県の自殺の現状と対策 ・講義Ⅰ：自殺対策 どう気づいて、どう対応するか ・講義Ⅱ：自殺予防の関わり ・実践報告 下越地域いのちとこころの支援センター専門相談員 ○研修方法：講義と演習				
結 果	評価基準： ①参加数が募集数の70%以上 ②研修内容の理解度(できた、ほぼできた)80%以上 ③自己課題の達成度又は研修目標(知識技術)の習得度(できた、ほぼできた) ○参加者数 73名 81% 【達成】・未達成】 ○アンケート結果(回収率78%) ・理解度 100% 【達成】・未達成】 ・自己課題の達成度 96% 【達成】・未達成】 ○受講者の意見 ・具体的な内容でわかりやすかった ・新たな知識を沢山得ることができ、勉強になった ・より実践的な支援方法を学ぶことができ、参考になった ・集合研修のほうが良かった				
評 価・総 括	○目標達成の評価：【研修会の目標は達成した】・未達成だった】 ・テーマ・目標・企画内容・時間配分など:妥当であった。 ・アンケート結果：回収率も高く、全体的に高評価で満足度96%と高かった。 ○総括 研修会開催の良かった点・改善点、今後の継続について 目標、内容に関してはアンケートより理解度も高く妥当であった。 学習要項でオンライン研修ガイドの案内をしているが、参加者から ZOOM の説明不足の指摘があった。受講者は学習要項をきちんと見て研修準備をして欲しい。 研修内容で演習がある為、ハイブリッド研修のほうが参加しやすいと考える。				
課 題	○ハイブリッド研修での開催を検討				
担当者	教育委員				